

- 問1 アメリカ合衆国の民族構成に関する調査において、カリフォルニア州、アリゾナ州、テキサス州など、全人口に占めるスペイン語圏からの移民である「ヒスパニック」の割合が15%を超える州の地理的な共通点として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 大西洋に面している南東部の州である。 2. 五大湖周辺に位置する北東部の州である。 3. カナダと国境を接している北部の州である。 4. メキシコと国境を接している南西部の州である。
- 問2 アメリカ合衆国において、メキシコや中央アメリカ、西インド諸島の国々から移住してきた、主にスペイン語を話す人々やその子孫を何といいますか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. ネイティブアメリカン 2. 華人 3. ヒスパニック 4. アングロサクソン
- 問3 アメリカ合衆国では、各地の気候や土壌といった自然環境に合わせ、特定の農作物を大規模に栽培する農業が行われています。この農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. プランテーション 2. 焼畑農業 3. 二毛作 4. 適地適作
- 問4 北アメリカの乾燥地域で行われている「センターピット」を用いた農業について、その仕組みと特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 地下水を水源としてくみ上げ、長いアーム状の装置で人工的に散水して農作物を栽培する。 2. 傾斜地の斜面を階段状に平らにならし、雨水を効率よく利用して作物を栽培する。 3. 河川の氾濫を防ぐための堤防を築き、湿地帯の水を抜くことで肥沃な土地を確保する。 4. 海や湖の一部を堤防で囲い、内部の水を排水して得られた土地を農地として利用する。
- 問5 アメリカ合衆国のカリフォルニア州では、家庭内で英語以外の言語を話す人のうち、約半数にあたる49%がラテンアメリカ出身者で占められています。このような人口構成を背景に、カリフォルニア州の公共施設や日常生活において、英語とともに広く使用されている言語として適切なものはどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. フランス語 2. スペイン語 3. アラビア語 4. ポルトガル語
- 問6 アメリカ合衆国では、小麦や大豆などの主要な農産物の自給率が100パーセントを大きく上回り、大量の農産物輸出が可能となっています。このような高い生産性を支えている農業の特徴として、正しいものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 自給率を維持するために、政府が穀物の輸入を法律で全面的に禁止している。 2. 農業従事者一人あたりの農地面積が広く、大型機械を用いた大規模な農業が行われている。 3. 狭い土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を極限まで高めている。 4. 国土の大部分が熱帯に属しており、二期作や二毛作によって年中収穫が可能である。
- 問7 2000年時点の日本、アメリカ合衆国、イギリスにおける発電電力量の構成を比較したとき、自国に豊富な資源を持つ背景から、これら三カ国の中で発電に占める石炭の割合が最も高かった国を選びなさい。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本 2. アメリカ合衆国 3. フランス 4. イギリス
- 問8 アメリカ合衆国は、1人あたりの国民総所得が約5万7千ドルに達する高度な先進工業国でありながら、穀物自給率が100パーセントを超えているという特徴があります。このように高い自給率を維持し、大量の穀物を輸出できる背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 都市近郊での集約的な園芸農業を中心とし、付加価値の高い作物を生産しているため 2. 国民の多くが農業に従事しており、小規模な家族経営による多角的な農業が主流であるため 3. 広大な土地を利用し、大型の農業機械を導入した高度な機械化農業が行われているため 4. 豊富な労働力を背景とした労働集約的な農業により、年二回の二毛作を行っているため
- 問9 アメリカ合衆国の中央部を南北に走る西経100度の経線付近は、農業形態の変化を示す重要な境界線となっています。この経線より西側の地域の自然環境と農業に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. ミシシッピ川から引いた豊富な水を利用して、家族経営による小規模な果樹園が密集している 2. 降水量が年間1000mmを超えるため、温暖湿潤な気候を利用した大規模な稲作が行われている 3. 降水量が少なく乾燥しているため、広大な土地を利用した企業的な放牧が行われている 4. 雨が非常に多いため、季節ごとに水草を求めて移動しながら家畜を飼育する遊牧が行われている
- 問10 アメリカ合衆国の農業や産業の特徴について、その地理的要因を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 全土が北極圏に近いため、冷涼な気候を活かした酪農やトナカイの放牧が産業の中心となっている。 2. 国全体が山岳地帯であり、平地が少ないため、傾斜地を利用した段々畑による米作りが古くから行われている。 3. 広大な国土を活かし、気候条件に合わせてトウモロコシや小麦などを大規模に生産する商業的農業が発達している。 4. 熱帯のジャングルを切り拓いた農地で、コーヒーやカカオなどの特定の農作物を輸出するために栽培するモノカルチャー経済が特徴である。
- 問11 北アメリカ大陸中央部を南北に通る西経100度の経線を基準としたとき、その東側に位置する五大湖周辺の農業に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を生かして、夏にブドウやオリーブを栽培する地中海性農業が行われている。 2. 冷涼な気候や大都市への近接性を生かして、乳牛の飼育や乳製品の生産を行う酪農が行われている。 3. 乾燥した気候を生かして、広大な土地で家畜を移動させながら育てる遊牧が行われている。 4. 経線の西側よりも降水量が少ないため、大規模な乾燥農法による小麦栽培のみが行われている。
- 問12 アメリカ合衆国の小麦栽培において、比較的温暖な地域では秋に種をまき翌年夏に収穫する「冬小麦」、寒さの厳しい北部では春に種をまき秋に収穫する「春小麦」というように、地域の気候に合わせて作り分けが行われています。このように、それぞれの地域の自然条件に応じた農作物を栽培することを何といいますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 等高線耕作 2. 施設園芸農業 3. 適地適作 4. モノカルチャー
- 問13 アメリカ合衆国の五大湖周辺において酪農が発達した理由について、自然環境と社会環境の両面から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 温暖多雨な気候で二期作が可能であることに加え、西側の広大な乾燥地帯へ製品を輸出するため。 2. 冷涼な気候で牧草の栽培に適していることに加え、周辺に大都市が多く存在し製品の消費地に近から。 3. 地中海性の気候で夏に乾燥することに加え、沿岸部の港から世界各地へ輸送しやすいから。 4. 乾燥した気候で病害虫が発生しにくいことに加え、遊牧によって広大な土地を効率的に利用できるから。